

平成27年度事業報告書

公益財団法人 日中友好会館

目次

	担当部	頁
I、公益目的事業		
(公1) 青少年交流・教育交流事業	総合交流部	
1、 青少年交流事業（招聘）	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2、 青少年交流事業（派遣）	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(公2) 寄宿舎施設の運営	留学生事業部	
1、 後楽寮入退寮状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
2、 後楽寮研修棟入退寮状況		
3、 開寮以来の入退寮状況		
4、 活動実績		
(公3) 中国語及び日本語教育	日中学院	
1、 学科状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
2、 各科活動状況		
3、 校友会活動		
4、 日中学院評議会		
(公4) 文化事業	文化事業部	
1、 主催・協力事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	18
2、 美術館展覧会実績		
3、 その他の催事		
II、収益事業		
	オフィスビル及びホテル管理業務	資産管理部
1、 オフィスビル賃貸業務	・・・・・・・・・・・・・・・・	23
2、 ホテル宿泊施設（後楽賓館）		
3、 設備更新		
III、その他の事業		
1、 会員相互友好事業	日中友好後楽会	・・・・・・・・25
IV、法人の状況		
1、 評議員会	・・・・・・・・・・・・・・・・	27
2、 理事会	・・・・・・・・・・・・・・・・	28
3、 広報	・・・・・・・・・・・・・・・・	30
4、 中国日本友好協会との定期交流	・・・・・・・・・・・・・・・・	31
5、 中国大使館との懇親会	・・・・・・・・・・・・・・・・	31
6、 中国大使館招待による訪中団	・・・・・・・・・・・・・・・・	31

〔I〕公益目的事業

(公1) 青少年交流・教育交流事業 : 総合交流部

平成 27 年度は、25 年度以降継続して外務省が実施する青少年交流事業「JENESYS2.0」の一環として日中青少年交流事業を実施した。

年間 4,040 名の招聘事業実施の目標に対し、招聘事業は 32 代表団 3,518 名と、目標未達ではあるが、26 年度の実績 22 代表団、1,719 名を大きく上回ることができた。派遣事業は中国側予算が確保されず、実施はなかった。

そのほか、27 年度の事業計画のうち、澳門高校生短期招聘（澳門教育局派遣）、中国大学生短期招聘事業（中華全国青年連合会派遣）、中国国家行政学院公務員訪日研修団（中国国家行政学院派遣）、日中次世代幹部交流訪日団（中国国家外国専門家局派遣）は、中国側派遣機関との調整が進まず実施はなかった。

27 年度の主な特徴としては、①26 年度から復活した中国教育部派遣の中国高校生短期招聘事業が大きな規模で複数回実施できたこと、特に中国高校生訪日団第 1 陣から第 6 陣までの約 1,400 名に加え、二階俊博・自民党総務会長が 27 年 5 月の訪中時に中国の青少年の招聘を表明し、中国高校生友好交流大使 500 人訪日団が実施できたこと、②中国日本友好協会派遣による中国大学生及び青年の代表団を、それぞれ異なるテーマ・専門分野に応じて招聘、特色ある交流活動を展開できたこと、③中国側の諸事情でしばらく実施がストップしていた中国社会科学院青年研究者代表団（中国社会科学院派遣）及び中国青年メディア関係者代表団（中国国務院新聞弁公室派遣）、中国青年短期招聘事業（中華全国青年連合会派遣）が復活したこと、④在中国日本国大使館の推進事業として、建築設計、リハビリ、母子保健、公益事業、食品衛生など、専門分野に特化した代表団も 6 事業実施したことが挙げられる。また中国側の公務員の海外出張日数の規定により、一部代表団は 4 泊 5 日と日数を短縮して実施した。

1. 青少年交流事業(招聘)

(1) 中国高校生短期招聘事業

中国高校生訪日団 1,434 名、中国高校生友好交流大使 500 人訪日団 493 名、アジア国際子ども映画祭参加の中国高校生 10 名、香港高校生 71 名、合計 11 団 2,008 名を招聘した。日程は 8 泊 9 日間、中国高校生友好校交流大使 500 人訪日団は 6 泊 7 日間の日程で実施した。澳門高校生については、平成 27 年度も実施時期の調整が合わず、実施は実現しなかった。

陣名・団名	招聘期間	招聘 人数	参加地域 団員構成	訪問先	派遣機関
2015年度中国高校生 訪日団第1陣	6月16日(火) ～6月24日(水)	200	内モンゴル自治区・ 江蘇省・吉林省 ・湖南省	東京・千葉・京 都・滋賀・大阪	中国 教育部
2015年度中国高校生 訪日団第2陣	9月8日(火) ～9月16日(水)	249	山西省・河北 省・重慶市・四 川省	東京・富山・新 潟・群馬・大阪・ 神奈川・島根・ 茨城・兵庫・奈 良・山口・京都	中国 教育部
2015年度中国高校生 訪日団第3陣	10月12日(月) ～10月20日(火)	246	黒龍江省・雲南 省・江西省・陝 西省	東京・新潟・長 野・茨城・北海 道・神奈川・山 形・愛媛・岐阜・ 愛知	中国 教育部
2015年度中国高校生 訪日団第4陣	11月3日(火) ～11月11日(水)	246	浙江省・内モン 古自治区・広西チ ワン族自治区・ 貴州省	東京・岡山・愛 知・岐阜・静岡・ 鳥取・神奈川・ 青森・長崎・福 岡・宮崎	中国 教育部
2015年度中国高校生 訪日団第5陣	11月24日(火) ～12月2日(水)	248	安徽省・福建 省・湖北省・甘 粛省	東京・大阪・岡 山・滋賀・大分・ 沖縄・千葉・京 都・兵庫・神奈 川・群馬・奈良・ 徳島	中国 教育部
2015年度中国高校生 訪日団第6陣	12月8日(火) ～12月16日(水)	245	江蘇省・河北 省・湖南省・吉 林省	東京・京都・千 葉・三重・愛知・ 宮城・熊本・和 歌山・滋賀・大 分・福岡・香川・ 岡山	中国 教育部
中国高校生友好交流大使 500人訪日団第1陣	11月1日(日) ～11月7日(土)	99	大連市・海南省	東京・和歌山・ 山梨	中国 教育部
中国高校生友好交流大使 500人訪日団第2陣	11月8日(日) ～11月14日(土)	100	山西省	東京・埼玉	中国 教育部

中国高校生友好交流大使 500人訪日団第3陣	12月13日(日) ～12月19日(土)	294	浙江省・陝西省・黒龍江省	東京・福井・ 北海道・奈良	中国 教育部
アジア国際子ども映画祭 2015参加訪日団	11月24日(火) ～12月2日(水)	10	北京市	東京・北海道・ 静岡・神奈川	中国 教育部
香港高校生訪日団 第3陣	12月15日(火) ～12月23日(水)	71	香港	東京・広島・ 大阪・神奈川	香港特別 行政区政 府教育局
合 計		2,008			

概要と成果：

① 中国高校生訪日団第1陣～第6陣、香港高校生訪日団第3陣

いずれも各地域で学校交流を2回したほか、ホームステイ・ホームビジット、農家民泊・農業体験などの体験学習で、同世代の青少年同士や一般市民と交流、親睦を深めた。

中国高校生は、各陣テーマを設け、セミナーや関連施設の視察・参観等を組み、体系的に学ぶ機会を設けた。(各陣のテーマ：第1陣「環境保護・省エネルギー」、第2陣「防災」、第3陣「国際交流」、第4陣「先端技術」、第5陣「社会福祉」、第6陣「環境保護・省エネルギー」) また、第6陣の一部はスポーツ交流(サッカー)をテーマに、日本の高校のサッカー部員との合同練習や友好親善試合などを実施した。

そのほか、大学訪問、企業視察、日本の歴史・文化・政治・経済・先端技術・環境・防災・福祉等に関する視察、参観、体験等、各地域でクールジャパンに触れ、包括的な対日理解を深めた。

② 中国高校生友好交流大使500人訪日団

平成27年5月に二階俊博・自民党総務会長が「日中観光文化交流団」として訪中した際、中国の子ども500人を日本に招聘することを表明、実施が決定した。同交流団に同行の国会議員、県知事の協力を得て、日本側の受入訪問県を決定(和歌山、山梨、埼玉、福井、北海道、奈良)、中国側の参加地域はそれぞれの友好都市の高校生を中心に構成された。各地ではいずれも、地方自治体が受入プログラムを調整し、道県庁への表敬訪問、学校交流、ホームステイ・ホームビジット、訪日記念植樹・記念樹贈呈等のプログラムに参加、同世代や市民との交流を深めたほか、日本文化体験、地域の視察・参観等を行った。また第1陣は、安倍総理大臣への表敬訪問、国会議員への報告会、中国大使館での昼食会にも参加した。

③ アジア国際子ども映画祭2015参加訪日団

日本を含むアジアの16カ国・地域が参加し、北海道北見市で開催された「第9回アジア国際子ども映画祭」に短編映画を出品、参加した。

中国側担当機関：中国教育部、香港特別行政区政府教育局

受け入れ実施 : (公財) 日中友好会館、一部を(一財)日本国際協力センター、(公社)青年海外協力協会、(一社)日中科学技術文化センターに委託

(2) 中国大学生の招聘事業

中日友好協会派遣による中国大学生訪日団 7 団 722 名を 7 泊 8 日の日程で招聘した。

陣名	招聘期間	招聘人数	参加地域 団員構成・テーマ	訪問先	派遣機関
第 20 陣	6 月 2 日(火) ～6 月 9 日(火)	99	四川省・雲南省・貴州省 (教育)	東京・宮城・岩手	中日友好協会
第 21 陣	6 月 30 日(火) ～7 月 7 日(火)	100	甘肅省・内モンゴ自治区・ 寧夏回族自治区 (日本語履修者)	東京・秋田	中日友好協会
第 22 陣	9 月 13 日(日) ～9 月 20 日(日)	100	遼寧省・黒龍江省・吉林 省(法学、国際関係)	東京・新潟	中日友好協会
第 23 陣	10 月 27 日(火) ～11 月 3 日(火)	100	北京市 (環境、農林学)	東京・岡山・兵庫	中日友好協会
第 24 陣	11 月 25 日(水) ～12 月 2 日(水)	100	安徽省・江西省・北京市 (社会福祉、ボランティア)	東京・千葉・ 埼玉・福岡	中日友好協会
第 25 陣	平成 28 年 1 月 19 日(火) ～1 月 26 日(火)	124	北京市・湖南省・江蘇省 (医学、経済・経営)	東京・埼玉・神奈 川・大阪・京都・ 奈良	中日友好協会
第 26 陣	3 月 8 日(火) ～3 月 15 日(火)	99	北京市・上海市・ほか各 地(音楽、ファッション デザイン、囲碁)	東京・神奈川・ 京都・滋賀	中日友好協会
合 計		722			

概要と成果：

中国大学生は毎回テーマ性を持った団構成とし、各専門分野に応じたプログラムに参加した。訪日の機会の少ない内陸部の大学生を広く招聘することができた。首都圏及び地方で 1～2 回の大学訪問を実施、訪問大学の教授による模擬授業及び、できる限り同じ専攻の学部・学科の学生や同じテーマの活動に従事する学生との交流を行い、同世代との親睦を深めた。また、一部の団は、学外での視察・参観・体験等を含めた形での日本の大学生との交流プログラムや、民間団体等の協力を得て、農家泊体験、ホームステイを体験した。

中国側担当機関：中日友好協会

受け入れ実施 : (公財) 日中友好会館

(3) 中国公務員・経済界青年代表団

中日友好協会派遣による公務員及び経済関係の青年 64 名を招聘した。

招聘期間	招聘人数	団員構成・参加地域	訪問先	派遣機関
8月4日(火) ～8月8日(土)	64	公務員、経済関係者 (北京市)	東京・京都	中日友好協会

概要と成果：

団員は北京市の公務員、経済関係者で構成、東京、京都を訪問した。公務員は北京と友好都市である東京都の前田信弘副知事を表敬訪問し、都が推進する環境と調和した都市づくりに関するブリーフを受けたほか、京都市上京区役所や防災施設を訪問、日本の行政・公共サービス、防災対策について学んだ。経済はシンクタンクやメーカー、都市開発関連企業への訪問視察、関係者との交流を通し、日本経済の現状や課題について理解を深め、民間企業の発展戦略、社会への貢献と企業文化などについて学んだ。中国側の公務員の海外出張日数の規定により4泊5日の短い行程となった。

中国側担当機関：中日友好協会

受け入れ実施：(公財)日中友好会館

(4) 2015年度中国農村青年幹部代表団

中日友好協会派遣による農村青年幹部 91 名を招聘した。

招聘期間	招聘人数	団員構成・参加地域	訪問先	派遣機関
8月4日(火) ～8月11日(火)	91	農村青年幹部 (北京市、山東省、河南省)	東京・北海道	中日友好協会

概要と成果：

中国独特の“大学生村官”と呼ばれるシステムにより、大学卒業後に地方の農村地域の共産党支部や村民委員会で働く農村青年幹部が、北京市、山東省、河南省から参加した。農林水産省による日本の農林水産業推進政策に関するブリーフを受けたほか、東京農業大学総合研究所の環境・バイオマスエネルギーの実証・研究現場や、卸売市場、飲料メーカーの生産ラインの視察を行った。千歳市では、北海道の酪農業経営に関するブリーフを受けたほか、牧場や農場を視察、酪農業従事者と交流し、収穫や出荷作業も体験した。中国の農村発展の参考とするべく、無農薬・有機栽培、食の安全を確保するための土壌作り、地域振興につなげるための観光牧場・農園の取り組み、ブランド商品開発等を学んだ。

中国側担当機関：中日友好協会

受け入れ実施：(公財)日中友好会館

(5) 中国教育関係者代表团 (第二十回中国教育関係者代表团)

中日友好協会派遣による第二十回中国教育関係者代表团 65 名を招聘した。

招聘期間	招聘人数	団員構成・参加地域	訪問先	派遣機関
12月1日(火) ～12月5日(土)	65	小・中・高等学校の教員等 (北京市、湖北省、湖南省、遼寧省)	東京・大阪・ 京都	中日友好協会

概要と成果：

教育交流事業として平成8年にスタートして以来、20回目の実施となった。訪日日数は4泊5日に短縮して実施した。文部科学省による日本の学習指導要領、授業カリキュラム、キャリア教育等に関するブリーフを受けたほか、大阪府教育委員会との懇談会で、教育方針や教育現場で抱える諸問題、教授法の向上や家庭環境の学業への影響等について意見交換し、日本の教育事情について理解と知識を深めた。教育現場の視察として、東京で都立高校を、大阪で公立小中学校を訪問し、特色ある取り組みや教育理念、教育改善計画等の説明を受け、教職員と交流した。小中学校では、学校給食の見学や試食、清掃の見学、研究授業の見学等も行った。

中国側担当機関：中日友好協会

受け入れ実施：(公財) 日中友好会館

(6) 2015年度中国青年代表团

中華全国青年連合会及び青年団体、企業の青年幹部 59 名を招聘した。

招聘期間	招聘人数	団員構成	訪問先	派遣機関
7月14日(火) ～7月21日(火)	59	中華全国青年連合会及び中国各地の青年団体や企業の青年幹部	東京・神奈川・ 静岡	中華全国 青年連合会

概要と成果：

中華全国青年連合会派遣の中国青年代表团は、24年度の実施以来、約3年ぶりの事業再開となった。当初の年間計画より小規模の実施となった。地方交流団・企業家交流団に分かれ、企業訪問や地方団体・企業交流会、日本文化プログラムに参加したほか、中華全国青年連合会と(公社)日本青年会議所(JC)の友好30周年式典等に参加し、関係者と交流を深めた。地方は香川県訪問を予定していたが、台風の影響を受け、急きょ訪問を取りやめ、首都圏と静岡で代替プログラムを行った。

中国側担当機関：中華全国青年連合会

受け入れ実施：(公財) 日中友好会館

(7) 中国社会科学院青年研究者代表团第1陣

中国社会科学院に所属する若手の研究者 24 名を招聘した。

招聘期間	招聘人数	テーマ	訪問先	派遣機関
6月10日(水) ～6月17日(水)	24	法治社会建設	東京・京都・大阪	中国社会科学院

概要と成果：

中国社会科学院青年研究者代表团は、24年度の実施以来、約3年ぶりの実施となった。「法治社会建設」をテーマに、法務省や東京大学、京都大学、日本弁護士連合会でブリーフや講演を聴講し、日本の研究者や専門家と意見交換を行ったほか、最高裁判所訪問や京都地方裁判所の裁判傍聴を通じ日本の司法機関の役割について理解を深めた。27年度内で第2陣以降は実施に至らなかった。

中国側担当機関：中国社会科学院

受け入れ実施：(公財)日中友好会館

(8) 2015年度中国青年メディア関係者代表团

中央・地方の若手メディア関係者、メディア行政関係者 231 名を3回に分けて招聘した。

陣名	招聘期間	招聘人数	テーマ	訪問先	派遣機関
第1陣	7月26日(日) ～8月2日(日)	92	シニア・シルバー世代、 都市と地方、 環境・省エネ	東京・神奈川・ 山口・徳島・福岡	中国国務院 新聞弁公室
第2陣	10月25日(日) ～11月1日(日)	84	医療・福祉、 和食、ものづくり	東京・島根 静岡・富山	中国国務院 新聞弁公室
第3陣	平成28年 1月24日(日) ～1月31日(日)	55	おもてなし文化、 食の安全	東京・神奈川・ 高知・愛知	中国国務院 新聞弁公室
合計		231			

概要と成果：

中国国務院新聞弁公室の派遣する青年メディアの招聘は、25年度の実施以来、約2年ぶりの事業再開となった。全陣共通で、首都圏及び地方の報道機関（新聞社、テレビ局、通信社等）を訪問、メディア関係者同士で交流し、日中双方のメディア事情について理解を深めた。また日中共通の課題や日本の強み・魅力として誇れる分野から、各陣のテーマを

設定し、テーマに沿った中央省庁や自治体・専門家によるブリーフや、関連機関・団体・企業・施設の訪問視察を行った。そのほか海外メディア独自の視点で日本や各地域の魅力を発見し、各テーマに対して一層の理解を深めるため、街頭で自由取材を実施した。

中国側担当機関：中国国務院新聞弁公室

受け入れ実施：(公財) 日中友好会館

(9) 在中国日本国大使館推進事業

在中国日本国大使館推進事業として、専門分野に特化した代表団 6 団 254 名を招聘した。

派遣は中国側の各機関で、在中国日本国大使館が派遣協力した。(※中国母子保健代表団は在日本中国大使館も協力。) 各専門分野のプログラムは、在中国日本国大使館が調整、手配した(※ただし中国青年公益事業交流団のプログラムは、日中友好会館が直接手配)。

団名	招聘期間	招聘人数	団員構成	訪問先	派遣機関
中国建築設計研究院訪日代表団	4月8日(水)～4月15日(水)	30	中国建築設計研究院の青年関係者	東京・京都・滋賀・大阪	中国建築設計研究院(派遣協力:在中国日本国大使館)
中国リハビリ関係者代表団	4月14日(水)～4月21日(水)	34	中国リハビリテーション研究センターの青年医療関係者	東京・福岡・鹿児島	中国リハビリテーション研究センター(派遣協力:在中国日本国大使館)
中国リハビリ関係者代表団第2陣	5月26日(火)～6月2日(火)	35		東京・埼玉・鹿児島	
中国母子保健代表団	6月28日(日)～7月2日(木)	32	中国国家衛生・計画生育委員会及び地方の母子保健関係者	東京・群馬・神奈川	中国国家衛生・計画生育委員会(派遣協力:在日本中国大使館、在中国日本国大使館)
中国青年公益事業交流団	平成28年3月13日(日)～3月20日(日)	93	中国宋慶齡基金会及び中国の政府機関・企業・学術界で公益事業に従事・研修する青年	東京・神奈川・兵庫・大阪	中国宋慶齡基金会(派遣協力:在中国日本国大使館)
中国食品衛生関係者代表団	3月23日(水)～3月30日(水)	30	中国国家質量監督検閲検疫総局及び各省の出入境検閲検疫局の青年	東京・栃木・神奈川	中国国家質量監督検閲検疫総局(派遣協力:在中国日本国大使館)
合 計		254			

*中国建築設計研究院訪日代表団

概要と成果：

団員は中国建築設計研究院に所属する若手の建築士やエンジニア等で構成された。主に東京、大阪で、国土交通省の訪問や東京駅周辺再開発現場の視察、日本の耐震建築、住宅産業等に関する訪問・視察を行い、住宅・建築関係者や行政関係者と交流、最新の日本の建築・住宅産業の技術や理念について理解を深めた。また、環境・防災施設や京都の世界遺産の歴史的建造物等を参観した。

中国側担当機関：中国建築設計研究院

派遣協力：在中国日本国大使館

*中国リハビリ関係者代表団、中国リハビリ関係者代表団第2陣

団員は、中国リハビリテーション研究センターの医師・理学療法士・作業療法士・看護師などで構成された。厚生労働省や独立行政法人国際協力機構（JICA）でブリーフを受けたほか、各地の病院・リハビリ施設を訪問・視察し、日本の最先端医療施設、リハビリ分野に対する理解を深め、日本の医療関係者と専門家同士の交流を行った。

中国側担当機関：中国リハビリテーション研究センター

派遣協力：在中国日本国大使館

*中国母子保健代表団

（派遣機関：中国国家衛生・計画生育委員会

派遣協力：在日本中国大使館、在中国日本国大使館/経済部）

団員は、中国国家衛生・計画生育委員会及び地方の母子保健関係者で構成され、（一社）親子健康手帳普及協会主催の母子手帳に関する勉強会に参加し、関係者と交流した。日本の母子手帳を海外に普及する活動を積極的に行っている福田貴代子 元総理夫人、高村治子 自民党副総裁・元外務大臣夫人、その活動に賛同した汪婉 駐日本国大使館参事官・程永華大使夫人が協力し、交流に参加した。勉強会後のレセプションには、福田康夫元総理と程永華大使も出席した。そのほか、産科医院や保健所などの施設を訪問・視察し、日本の母子保健に関する制度や運営システムに対する理解を深めた。

中国側担当機関：中国国家衛生・計画生育委員会

派遣協力：在日本中国大使館、在中国日本国大使館

*中国青年公益事業交流団

団員は、中国宋慶齡基金会及び中国の政府機関・企業・学術界で公益事業に従事・研修

する青年、公共管理を学ぶ大学生・大学院生等で構成された。日本の公益事業全般のほか、社会福祉、ボランティア分野の理解に焦点を置き、厚生労働省や内閣府による日本の社会福祉制度、公益事業に関するブリーフを受けたほか、企業のCSR活動や神戸市の高齢者福祉サービスの視察、遺児支援団体の訪問・交流、公共管理を学ぶ日本大学法学部との交流、地域活性化を目的としたボランティア活動の現場視察などを行った。

中国側担当機関：中国宋慶齡基金会

派遣協力：在日本中国大使館

*中国食品衛生関係者代表団

団員は、中国国家質量監督検験検疫総局及び各市・省の出入境検験検疫局の青年関係者で構成された。厚生労働省のブリーフ、食品製造・加工メーカーや卸売市場などの視察や関係者との交流を通し、日本の食品安全・衛生管理の制度や施策、管理方法等について総括的に理解を深めた。

中国側担当機関：中国国家質量監督検験検疫総局

派遣協力：在日本中国大使館

2. 青少年交流事業(派遣)

本年度の派遣事業は中国側の招聘がないため、実施しなかった。

(公2) 寄宿舍施設の運営 : 留学生事業部

中国留学生・研究員の受入事業用施設として「後楽寮」及び「後楽寮研修棟」がある。「後楽寮」には203室(1階～3階)、「後楽寮研修棟」には34室(後楽賓館2,3階)がある。

1. 後楽寮入退寮状況

(1) 資格区分別入退寮者数

	平成27年4月1日 時点の在寮生数	平成27年度		平成28年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	98	72	68	102
単位公派	17	28	25	20
自費学生	52	36	32	56
華僑学生	0	1	0	1
合 計	167	137	126	179

* 国家公派とは中国教育部の派遣留学生・研究員

* 単位公派とは地方政府機関、大学、研究所の派遣留学生・研究員

* 自費学生は大学院正規課程生(修士課程・博士課程)

(2) 男女別入退寮者数

	平成27年4月1日 時点の在寮生数	平成27年度		平成28年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男 子	90	74	69	95
女 子	77	63	56	84
合 計	167	139	125	179

2. 後楽寮研修棟入退寮状況

(1) 資格区分別入退寮者数

	平成27年4月1日 時点の在寮生数	平成27年度		平成28年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	15	17	19	13
単位公派	14	15	22	7
合 計	29	32	41	20

* 国家公派とは中国教育部の派遣留学生・研究員

* 単位公派とは地方政府機関、大学、研究所の派遣留学生・研究員

(2) 男女別入退寮者数

	平成 27 年 4 月 1 日 時点の在寮生数	平成 27 年度		平成 28 年 3 月 31 日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男子	13	16	19	10
女子	16	16	22	10
合計	29	32	41	20

3. 開館以来の入退寮状況

「後楽寮」は昭和 60 年 4 月に、また「後楽寮研修棟」は昭和 63 年 4 月に開設された。それぞれ満 30 年および 27 年が経過したが、その間の入退寮者数は「平成 28 年 3 月末現在次の通りです。

	入寮数	退寮数
後 楽 寮	3,652	3,473
後楽寮研修棟	951	931
合計 (人)	4,603	4,404

4. 活動実績

(1) 寮施設の改修・改善

- 5ヶ年改修計画 1階エントランス天窓塗替工事
外壁改修工事
寮1～3階共用部廊下カーペット交換工事
外部階段北面外壁塗装工事
庭側シール打ち
- その他の改修 寮、賓館の居室内フィルター交換
会館大ホール舞台補強工事（寮芸術団演技用）
- 寮生活改善改修 地下1階閲覧室の机増設
大富視聴工事（2階ラウンジと4階）
wifi工事（地下1階、2階ラウンジ、4階）
冷蔵庫30台購入、交換

(2) 行事等

(イ) 寮内行事

- ・本年度も国慶節祝賀会を9月26日、春節祝賀会を1月23日に開催した。この2大祝賀会は自治組織である寮生委員会主催による行事であり、指導教授を招待する他、寮生同士や友人知人との親睦を深める機会となっている。会館は今年も開催を支援した。
- ・寮生同士や会館職員との交流のため、本年度も7月に納涼会を開催。今回は交流だけ

ではなく、留学生事業部で綿あめ機や輪投げを用意し、日本の文化なども体験が出来るように支援した。

・寮生同志の交流を目的として始まった【後楽講堂】(寮生が講師となり自身の専門研究テーマを講演する)も開催してより1年半が経過、内容も皆が工夫をし充実してきた。さらに、本年度は寮生の他にも月1回程度、外部講師による特別講義が実現、寮生には貴重な時間となった。

・留学生事業部は寮生委員会との協議会を毎月1回定期的実施、後楽寮の改善のために意見交換や情報交換を行った。

(ロ) 寮外行事

寮生と日本国民との交流活動の場として各日中友好団体および個人の協力を得て、今年も長野・小田原・加須においてホームステイを実施、支援した。また、都内各地での日中友好関連行事への参加や後楽寮芸術団の出演についても積極的に支援した。寮生に大人気のスキー体験教室も毎年実施、寮活動の一環として支援した。

(ハ) 後楽会(中国)友好联谊会

設立4周年を迎えた後楽会(中国)友好联谊会(以下、後楽会(中国)という)は5月に山東分会(3個目の分会)を設立した。そして11月7日には北京において第4回の定期総会を開催、会館からも役職員が参加し、後楽寮生OBとの親睦を深めることができた。また本年度は後楽会(中国)と日中友好後楽会(以下、後楽会という)がコラボしたことにより、後楽会の定期旅行を11月に実施、後楽会(中国)の定期総会には後楽会の方々も初めて参加した。さらに後楽会(中国)からの要請もあり、当日参加した内の4名の後楽会会員が後楽会(中国)の会員宅にホームステイをした。また1月には山東分会の年次会とシンポジウムが青島市で開催された。会館は本年度も後楽会(中国)を支援した。

(公3) 中国語及び日本語教育 : 日中学院

1. 学科状況

本年度、日中学院の在籍者数

	2016年3月	2015年3月	2014年3月
本科	23人	24人	42人
別科夜間	183人	177人	197人
別科昼間	362人	375人	416人
日本語科	17人	12人	7人
文化講座	10人	11人	11人
合計 (人)	595人	599人	673人

2. 各科活動状況

① 2015年度卒業生数

本科 8名 (修了生2名を含む) 本科研究 5名 (科目履修生2名含まず)

② 2015年度の主な行事

都内見学 (4月24日) / 春季合宿 (5月19～20日) / 遠足 (9月18日)
文化祭 (10月31日) / スポーツ大会 (2月29日) / スピーチ大会 (2月2日)

③ 公開講座 8月29日、11月14日、1月30日に実施した。

④ 中国短期研修

派遣先: 中国人民大学

派遣期間: 6月27日～8月2日

参加者数: 6名

⑤ 進路指導

- ・ 2年生進路面接 4月、9月
- ・ 本研学生の個人面談 4月、9月
- ・ 進路懇談会 6月

(2) 別科 (付帯教育)

① 公開無料講座 年間20クラス開講

② 朗読大会 10月3日

③ 日本語科留学生との交流会 6月

(3) 日本語科 (専門課程)

①卒業生数 7名(内3名修了)

②2015年度の主な行事

都内見学(4月24日)、春季合宿(5月19～20日)
別科との昼食会(6月5・6・7日)、遠足(9月18日)
文化祭(10月31日)、スポーツ大会(2月29日)
国会見学(1月20日)、スピーチ大会(2月2日)
春節パーティ(2月5日)

③日本科創設30周年同窓会 7月12日

④短期留学生受け入れ 7月16日～8月14日

4. 校友会活動

①文化祭発表:ピースリーディング

②校友会旅行 早春に浙江省の水辺と美食を訪ねる旅
(実施時期 2016年3月24～29日)

5. 日中学院評議会

開催日時	場所	議事事項
第34回 2016年2月23日(火) 午後2時00分～3時00分	日中学院	[議事] ① 2016年度年日中学院活動計画について ② 2016年度日中学院収支予算について ③ 学院長選挙結果について ④ その他

(公4) 文化事業 : 文化事業部

平成 27 年度の文化事業は主催・協力事業合計 10 件、会館美術館での展覧会は 9 件であった。

1. 主催・協力事業

(1) ピリリ！と面白い 中国漫画展

会期：平成 27 年 5 月 28 日（木）～6 月 28 日（日） 会場：日中友好会館美術館

中国漫画界を牽引する浙江省嘉興(かこう)市で開催された全国漫画コンテストなどの受賞作品から、2010 年代に創作された 60 点を展示した。内容は、環境汚染、食品の不安、政治の腐敗など、中国の現代社会の問題を辛辣かつユーモアに描いたものだった。来場者からは「中国の事情がよく理解できた」などの感想を数多く頂き、漫画というジャンルからか、他催事の時に比べて 20～30 歳代の若い年齢層の方の来場が目立った。

開幕式には、中国の著名漫画家 徐鵬飛氏をはじめとする中国代表団や、後援団体の（公社）日本漫画家協会 ちばてつや理事長、（一財）日本漫画事務局八月十五日の会 森田拳次代表理事をはじめ、多くの日本の漫画家や来賓が出席した。

また、会期中に行った古琴のミュージアムコンサートには約 70 名、日本絵手紙協会公認講師による絵手紙体験講座には約 20 名、NHK 解説委員で当文化事業諮問委員の加藤青延氏による記念講演会には約 90 名が参加し、大変好評だった。来場者数は、約 2,200 名（28 日間）だった。

(2) 経営はビジュアル的に考えよう 中国企業ロゴデザイン秀作展

会期：平成 27 年 7 月 10 日（金）～7 月 26 日（日） 会場：日中友好会館美術館

WGD (World Good Design) が中国にて選出した現代中国企業のロゴデザイン 60 点の展示を通して、中国のデザインが中国文化を反映し時代と共に発展している様子を紹介した。「中国企業の考えるロゴマークの意味について理解することができ、参考になった」、「文化の違いによるデザインセンスの差異が確認できた」という感想があった。

開幕初日には中国側主催者の PAOSNET SHANGHAI 王超鷹首席代表をはじめとする 30 数名が来日し、開幕式と王超鷹氏による講演会を行った。日本のデザイナー関係者も多数来場し、大盛況だった。来場者数は、約 650 名（17 日間）だった。

(3) 国墨(こくぼく)・東瀛(とうえい) —中国当代著名画家作品展

会期：平成 27 年 8 月 10 日（月）～8 月 15 日（土） 会場：日中友好会館美術館

中国画壇界で活躍する画家 12 名による中国画 47 点を展示した。中国伝統文化に根をおき、時代を反映する佳作が並んだ。開幕式には中国から主催団体代表者と画家による代表団、日本の日中友好団体代表者らが参加した。開幕式後には江田会長の揮毫を皮切りに、中国画家たちによる合同創作が行われ、来場客は興味深く観覧し、画家たちとの交流も盛んに行われた。来場者数は約 180 名（6 日間）だった。

（4）第 25 回中国文化之日「四川棒遣い人形劇—資中木偶劇団来日公演・四川棒遣い人形展」

【公演の部】

会期：平成 27 年 10 月 23 日～10 月 25 日 会場：日中友好会館大ホール

中国・四川省資中人形劇団との共催で、四川省資中人形劇団の団員計 15 名が来日して公演を行った。幕を張って人形だけの芝居を見せる演目と、幕を外して遣い手と人形が共演する現代的な演出形式を採用した演目を織り交ぜて構成し、四川の秘技ともいわれる「変面」ほか多彩なプログラムで観客から大変好評だった。また、幕間では、棒遣い人形の操作方法を紹介した後、数名の観客を壇上に招き、人形遣い体験も行い交流を図った。来場者数は全席満席で、合計約 900 名だった。

【展示の部】

会期：平成 27 年 10 月 1 日～10 月 25 日 会場：日中友好会館美術館

資中人形劇団で製作された棒遣い人形やその衣装、製作過程などを紹介するとともに、公益財団法人現代人形劇センター所蔵の日本の文楽人形や現代棒遣い人形、東南アジアの棒遣い人形も比較展示した。資中人形劇団の来日に合わせて人形製作師による製作実演、並びに資中人形劇団員と日本の人形劇関係者 40 名での交流会も開催し、それぞれの特徴の紹介や人形の操作を互いに体験するなど、盛んな交流が行なわれた。展覧会の来場者数は人形劇公演鑑賞者も含め、約 1,650 名（22 日間）だった。

（5）「全世界の視線は彼に集まった一周周恩来総理記念回顧展」

会期：平成 27 年 11 月 20 日（金）～11 月 25 日（水） 会場：日中友好会館美術館

長年秘蔵されていた周恩来総理ゆかりの中国、世界各国、特に日本の著名人の題辞、書画、撮影希少品をパネル展示した。開幕式には、中国側代表団 60 名、日本の国会議員約 20 名をはじめ、合計 150 名の来賓、観衆が集まり、大盛況の幕開けとなった。また、会期中には周恩来総理ゆかりの珍しい品々に多くの来場客が興味深く観覧していた。来場者数は、約 505 名（6 日間）だった。

（6）「中国第 12 回全国美術展受賞優秀作品による『現代中国の美術』—百花繚乱 中国リアリズムの煌めき」東京展

会期：平成 28 年 2 月 25 日（木）～4 月 10 日（日） 会場：日中友好会館美術館

第 4 会場となる日中友好会館美術館は 2 月 25 日に開幕。開幕式には中国側主催者である中国美術家協会から何家英副主席、全国美術展金賞受賞作家を含む 6 名も来日し、およそ 150 名の来賓、参加者が集まり盛大な幕開けとなった。会期中は多様なイベントを企画した。来日作家によるギャラリートークには約 80 名、古琴とピアノによるミュージアムコンサートには 100 名を超える来館があり、追加開催したギャラリートークにも各回 50 名ほどの参加があった。

アンケートの回収枚数は 400 枚に上り、本展への反響の大きさが窺われた。「大変良かった」「良かった」が 100%と、大変満足度の高い結果となった。「これまでの中国美術に対するイメージがガラリと変わった。」「中国絵画の実力を見ることが出来る貴重な機会であった。」「リアリズム絵画のパワーに圧倒された。」など感動の声が多数寄せられた。会期を通じての来場者総数は約 2,400 名（40 日間）であった。

巡回（1）（2）（3）「中国第 12 回全国美術展受賞優秀作品による『現代中国の美術』
一百花繚乱 中国リアリズムの煌めき」 奈良巡回展、山梨巡回展、長崎巡回展
<奈良展>

会期：平成 27 年 8 月 18 日（火）～9 月 23 日（水）会場：奈良県立美術館

5 年に 1 回開催し好評をいただいている「現代中国の美術展」。第 7 回目の日本巡回展となる今回は展覧会名も新たに「百花繚乱 中国リアリズムの煌めき」と題し、日本各地 5 か所を巡回した。

第 1 会場である奈良県立美術館での展覧会は大好評のうちに閉幕した。会期中はギャラリートークや JAZZ コンサートなどの多彩なイベントが開催された。来場者数は、予想を超える約 9,000 名（32 日間）だった。

<山梨展>

会期：平成 27 年 10 月 2 日（金）～11 月 15 日（日） 会場：身延町なかとみ現代工芸美術館

第 2 会場の身延町なかとみ現代工芸美術館では、本展が初めての中国現代美術展となったが、来場者からの評価が非常に高く、ロコミ効果もあり予想を超える約 1,200 名（39 日間）が来場された。

<長崎展>

会期：平成 27 年 12 月 12 日（土）～平成 28 年 1 月 31 日（日） 会場：長崎県美術館

第 3 会場の長崎県美術館は、本展が初めての中国現代美術展であった。長崎は中国と大変ゆかりが深く中国駐長崎総領事館設立 30 周年記念の後援を得て開催された。

アンケート結果から評価は非常に高かった。また、男女比率、年齢構成も偏りなく 10 代から 70 代まで幅広い年齢層が来場された点が特徴的であった。来場者数は約 4,600 名（43 日間）だった。

2. 美術館展覧会実績 (平成27年4月～平成28年3月)

NO	展覧会名	会期	主催団体
1	「中国夢・赤子心」日中文化芸術展覧会	4月21日～4月24日	国際文化交流機構
2	仲墨展	5月7日～5月13日	仲崇霖
3	第1回美の視点 3名の美術評論家が推す2015注目作家	5月14日～5月20日	美術の杜出版株式会社
4	ピリリ！と面白い 中国漫画展	5月28日～6月28日	(公財)日中友好会館、浙江省嘉興市文化広電新聞出版局、嘉興市文学芸術界聯合会、嘉興美術館
5	経営はビジュアル的に考えよう 中国企業ロゴデザイン秀作展	7月10日～7月26日	(公財)日中友好会館、PAOS 上海
6	第1回 齊白石の孫「熊之純」中国絵画 交流・記念展示会	7月29日～8月4日	株式会社ルミエールジャパン
7	<small>こくぼく とうえい</small> 国墨・東瀛—中国当代著名画家作品展	8月10日～8月15日	中華文化促進会、北京国一金 典国際文化伝播有限公司、(公 財)日中友好会館*名義主催
8	筆之友選抜書展	8月17日～8月23日	書道奨励協会
9	第26回日中友好自詠詩書交流展東京展	9月3日～9月6日	修美社
10	第25回中国文化之日 四川省棒遣い人形展	10月1日～10月25日	(公財)日中友好会館、資中 木偶劇団
11	第13回東瀛印社篆刻展	10月30日～11月4日	東瀛印社
12	第18回国際水墨画交流展	11月9日～11月15日	国際水墨画交流協会
13	全世界の視線は彼に集まった—周恩来総 理記念回顧展	11月20日～11月26日	中国国際文化交流中心、(公 財)日中友好会館*名義主催
14	石鼓印象、石鼓印社書画印作品展	11月30日～12月4日	石鼓印社
15	全国美術作品展受賞優秀作品・第7回現 代中国の美術 百花繚乱 中国リアリズム の煌めき	2016年2月25日～4月10 日	(公財)日中友好会館、中国 美術家協会

3. その他の催事 (公演、地方巡回展)

NO	展覧会名	会期	会場
1	全国美術作品展受賞優秀作品・第7回現 代中国の美術 百花繚乱 中国リアリズム の煌めき	8月18日～9月23日	奈良県立美術館

2	全国美術作品展受賞優秀作品・第7回現代中国の美術 百花繚乱 中国リアリズムの煌めき	10月2日～11月15日	身延町なかとみ現代工芸美術館
3	四川棒遣い人形劇一資中木偶劇団来日公演	10月23日～10月25日	日中友好会館大ホール
4	全国美術作品展受賞優秀作品・第7回現代中国の美術 百花繚乱 中国リアリズムの煌めき	12月12日～2016年1月31日	長崎県美術館

〔Ⅱ〕収益事業

オフィスビル賃貸事業及びホテル運営業務 : 資産管理部

1. オフィスビル賃貸事業（後楽国際ビルディング）

平成27年度はオフィスの退去が2件（計1,765㎡）発生したが、空室となったオフィスは期中に全て入居者が決定した。しかし、空室期間が生じた為、オフィスの賃貸料収入は約598百万円（税抜）となり、平成26年度より約3千万円の減収となった。

なお、飯田橋周辺の賃料水準に関しては、平成26年度に引続いて引き上げ傾向が継続しており、当ビルでも契約更改を迎えた2件の既存テナントの賃料増額に成功した。

2. ホテル運営業務（後楽賓館）

平成27年度は売上・客室稼働率・客室平均単価の3点において、前年度実績より向上した。

客室室料と付帯業務を合わせた売上は平成26年度と比較して約18百万円増加し、計353百万円（税抜）であった。客室稼働率は87.3%、客室単価は6,876円と共に前年度より向上した。

中国人団体観光客が増加した事に加えて、日本人のビジネスマンや観光客、受験生等が取り込めている事と、更には改修した客室が好評であり、リピーターの増加もこの好結果に繋がった。

3. 設備更新

平成27年度中の設備更新及び改修工事の主な内容は次の通りである。以下の金額は全て税抜金額。

(1) ホテル11階客室改修工事

- ・老朽化の進んでいるホテル11階の客室17室と共用部の改修工事を実施した。工事は6月に完了。総工費は約36百万円。

(2) ホテル11階バリアフリー改修工事

- ・東京都の助成金700万円を得て、ホテル11階セミスイート室のバリアフリー改修を実施。工事は2月に完了。総工費は約15百万円。

(3) ホテル基幹システム更新工事

- ・ホテルフロントの基幹システムを更新。工事は6月に完了。総工費は約6百万円。

(4) ホテル屋上防水更新工事

- ・ホテルの屋上防水を更新。工事は5月に完了。総工費は約6百万円。

(5) 本館（オフィス棟・ホテル棟）清掃用ゴンドラ更新工事

- ・本館の清掃用ゴンドラを更新。工事は6月に完了。総工費は約14百万円。

(6) ホテル無線LAN（Wi-Fi）電波改善工事

- ・ホテル客室の内、無線LAN（Wi-Fi）の電波状況が悪い客室に対して改善工事を実施。東京都からの助成金24万円を取得。工事は2月に完了。総工費は約3百万円。

〔Ⅲ〕 その他の事業

1. 会員相互友好事業 : 日中友好後楽会

賛助会員組織「日中友好後楽会」は、会館の施設を活用し中国人留学生と直接交流を行うことで相互理解を深め日中双方の親睦を促進できるよう創設された。

① 会員数

平成28年3月末現在の会員数は75名、法人会員2社。近年は会員の高齢化による会員数減少が進んでいる。

② 談話会・会員集会

月例の行事として、談話会・会員集会を原則として月1回開いている。8月、12月は、お盆休み、年末多忙などの理由で休会としている。通例として、談話会は後楽寮生を講師として招き専門分野における研究成果の一端を日本語で披露してもらう。近年は日本語のできない寮生が増加している傾向にあり講師も日本語のできない者が増加していることから、日本語の堪能な寮生に通訳を依頼している。大学院での研究発表・講評・口頭試問などへの準備として有効なため寮生からは好評であり、また会員からも様々なテーマの講義を聞けると好評である。

談話会終了後には立食形式による夕食会を開催。食事を楽しみながら自由に寮生と会員が歓談できる。毎回の談話会の出席者は会員、寮生合わせて25～40名程度である。

また平成27年度の総会（11月26日）は47名が出席し小石川後楽園内の『涵徳亭』で行われた。

③ 友好バスハイク

年2回、会員と後楽寮生が都内あるいは近郊へ友好ハイキングに出かけている。主に貸切バスを利用し、朝から夕刻まで長時間会員と寮生が行動を共にするため、実りの多い交流・交歓の機会になっている。平成27年5月15日には、栃木県日光市方面への日帰りバス旅行、平成27年10月2日には埼玉県秩父市、大宮市方面への日帰りバス旅行を行った。

④ 中国旅行

年に一度の会員対象の中国旅行は、11月5日～9日の5日間で、北京市を中心に、保定市を巡った。参加者は14名であった。今回は後楽寮生のOB会組織である、後楽会(中国)友好聯誼会の協力のもと、4名が元後楽寮生の自宅へホームステイ、そして100名近くが出席した年次総会に参加し、北京在住の元後楽寮生と会い、交流することができ、特に今年は後楽会旅行ならではの活動ができた。

⑤ 会員向け文化講座

月2回、第1、第3木曜日に気功教室と中国画教室が開かれ、いずれも高度な専門家の指導を仰いでいる。スタート以来15年を経過し、両教室とも生徒は10名に達しないが熱心に通いつけている。

⑥ 観桜会

会館行事として、毎年桜のシーズンに小石川後楽園内の『涵徳亭』で観桜会を催し、中国大使館をはじめ、会館理事・評議員、後楽会会員、後楽寮生を招待している。平成27年度の観桜会（平成28年3月25日）は25回目となり出席者88名にて行われた。

平成27年度後楽会活動（平成27年4月～平成28年3月）

日 付	催 事	参加者数
5月15日	春季友好バスハイク（栃木県日光市）	16
6月16日	日中友好会館美術館主催展「中国漫画展」交流茶話会 「漫画から読む中国現代ニュース」 講師：加藤青延	13
7月7日	談話会・会員集会「身体と心に合わせた健康体操～八段錦功法～」 講師：張秀閣、曹新	28
9月16日	談話会・会員集会「中国の婚姻・不動産に関する法律の諸問題」 講師：趙銀仁	32
10月2日	秋季友好バスハイク（埼玉県秩父市、大宮市）	18
11月5～9日	中国旅行（北京・保定）	14
11月26日	全体集会 後楽会会員総会（もみじの会）	47
1月15日	談話会・会員集会 新春談話会	43
2月4日	談話会・会員集会「後楽寮・友好の信念を貫く留学生寮 80年の歴史を乗り越えて-」講師：王純	39
3月25日	全体集会 第25回観桜会	88

[IV] 法人の状況

1. 評議員会

開催日時・場所	議 事 事 項
第8回評議員会 平成27年6月22日(月) 日中友好会館	議題 第1号議案：平成26年度 事業報告 (自平成26年4月1日至平成27年3月31日) 第2号議案；平成26年度 計算書類の承認 (自平成26年4月1日至平成27年3月31日) 第3号議案：評議員の補選(福田昭昌評議員の後任) 第4号議案：理事の補選(王昆理事の後任) 第5号議案：次期評議員選任に関する理事会提案の審議 第6号議案：定款の一部改定 ① 第7条 ② 第11条2項 ③ 第22条2項 ④ 第43条
臨時評議員会 平成27年10月2日(金) 日中友好会館	議題 第1号議案：平成28年度の新評議員選任方法の件 第2号議案：平成28年度の新理事・新監事選任方法の件 第3号議案：日中学院学則の一部変更の承認の件
評議員懇談会 平成27年12月8日(火) 日中友好会館	次期評議員・理事・監事選任に係わる意見交換
第9回評議員会 平成28年3月18日(金) 日中友好会館	議題 第1号議案：平成28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日)事業計画書、収支予算書、資金調達・設備投資計画書の承認 第2号議案：平成28年度常勤役員の報酬(案)の承認 第3号議案：平成27年度設備投資計画の一部変更の承認

2. 理事会

開催日時・場所	議 事 事 項
<p>第16回理事会 平成27年6月8日（月） 日中友好会館</p>	<p>議題： 第1号議案：平成26年度計算書類・事業報告の承認 （自平成26年4月1日至平成27年3月31日） 第2号議案：張忠志職員の文化事業部長任用の承認 第3号議案：資産管理部業務委託契約の承認 第4号議案：次期評議員選任に関する理事会提案の議決 第5号議案：第8回評議員会招集の決定 日時：平成27年6月22日（月）14：00～16：00 場所：（公財）日中友好会館 地下一階 大ホール</p> <p>議題：①平成26年度 事業報告 ②平成26年度 計算書類の承認 ③評議員の補選（福田昭昌評議員の後任） ④理事の補選（王昆理事の後任） ⑤次期評議員選任に関する理事会提案の議決 ⑥定款の一部改定 イ. 第7条 ロ. 第11条2項 ハ. 第22条2項 ニ. 第43条</p> <p>報告 （1）代表理事の職務の執行の状況 （平成26年4月～平成27年3月） （2）寮費値上げに関する寮生の意見 （3）留学生事業部夏瑛職員の昇格（部付部長） （4）定期預金残高の報告（平成27年3月末現在）</p>
<p>第17回理事会 平成27年9月11日（金） 日中友好会館</p>	<p>議題： 第1号議案：井下田孝人職員の総務財務部長任用の承認 第2号議案：資産管理部業務委託契約の承認 第3号議案：日中学院学則の一部変更の承認 第4号議案：設備投資の予算超過の承認 第5号議案：後楽寮寮費調整の承認 第6号議案：臨時評議員会招集の決議 日時：平成27年10月2日（金）14：00～16：00 場所：（公財）日中友好会館 地下一階大ホール</p>

	<p>議題：①平成 28 年度の新評議員選任の件 ②平成 28 年度の新理事・新監事選任の件 ③ 日中学院学則の一部変更の承認の件</p> <p>報告</p> <p>(1) 代表理事の職務の執行状況 (2) 会館建物・設備 10 ヶ年改修計画 (3) 定期預金残高の報告 (平成 27 年 8 月末現在)</p>
<p>第 18 回理事会 平成 27 年 12 月 11 日 (金) 日中友好会館</p>	<p>議題：</p> <p>第 1 号議案：夏瑛部長社宅賃貸契約締結の承認 第 2 号議案：平成 26 年度設備投資計画の一部変更の承認 ①設備投資予算増額の承認 ②後楽賓館無線 LAN(Wi-Fi)改善工事の承認 第 3 号議案：特定個人情報取扱規程制定の承認 第 4 号議案：就業規則の一部改定の承認 (職員就業規則、 嘱託就業規則、調理師嘱託就業規則、臨時 職員パートタイマー就業規則)</p> <p>報告：</p> <p>(1) 代表理事の職務の執行状況 (平成 27 年 9 月～平成 27 年 11 月) (2) 中国高校生友好交流大使 500 人訪日団について (3) 安倍総理、岸田外務大臣宛要望書の提出について (4) 評議員懇談会 (12 月 8 日) 審議の状況 (5) 定期預金残高の報告 (平成 27 年 11 月末現在)</p>
<p>理事懇談会 平成 28 年 1 月 22 日 (金)</p>	<p>次期評議員・理事・監事選任に係わる意見交換</p>

<p>第19回理事会 平成28年3月4日（金） 日中友好会館</p>	<p>議案：</p> <p>第1号議案：平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）事業計画書、終始予算書、資金調達・設備投資計画書の承認</p> <p>第2号議案：次期評議員・理事・監事の理事会推薦候補の議決</p> <p>第3号議案：情報セキュリティー管理規程の承認</p> <p>第4号議案：第9回評議員会の招集の議決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時；平成28年3月18日（金）14:00～16:00 ・場所：日中友好会館 ・議題：①平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）事業計画書、収支予算書、資金調達・設備投資計画書の承認 ②平成28年度常勤役員の報酬（案）の承認 ③平成27年度設備投資計画の一部変更の承認 <p>報告：</p> <p>(1) 代表理事の職務の執行の状況（平成27年12月～平成28年2月29日）</p> <p>(2) 定期預金残高の報告（平成28年2月末現在）</p>
--	--

3. 広報 : 広報チーム

組織横断型の広報チームが各部の意見をとりとまとめ、より有意義な広報を目指して活動した。当公益財団の広報誌として毎月発行している「会館だより」は、各部の活動報告のタイムリーな掲載を心掛け、昨年同様に毎号ホームページにも掲載した。内容の充実をはかり、会長はじめ役員の記事やコラムの掲載を継続した。

会館ホームページは引き続き安定して運営しており、情報の見やすさ、使いやすさのアップのため、適宜調整し、情報の随時更新に努めた。

活動の総括として「日中友好会館年報」を平成27年8月に発行し、関係先に配布した。平成26年8月より開始したメールマガジンの発行は、毎月初旬に「会館だより」を主な内容として発行している。また、平成27年2月～4月の「百花繚乱 中国リアリズムの煌めき」展開催にあたり、特集メールマガジンを2回臨時発行した。

4. 中国日本友好協会との定期交流

4月7日から4月11日まで、中国日本友好協会との相互訪問協議書に基づき、定期交流を目的として王秀雲副会長を団長とする中日友好協会代表団5名が来日した。今年度の青少年交流の事業計画について協議したほか、会館役員と幅広く意見交換を行い、協力関係を進めていくことを確認した。また、長野県知事への表敬訪問や同県内視察、栃木県を訪問し、地方理解を深めた。

5. 中国大使館との懇親会

11月25日、程永華大使、劉少賓公使他5名を招待して会館理事との懇談会を開催した。会館側は江田五月会長、宮本副会長、武田理事長他12名が参加し、終始和やかな雰囲気の下、日中両国関係の一層の進展を図るために相互協力することを再確認した。

6. 中国大使館招待による訪中団

2015年12月23日～26日まで、日中友好会館訪華団（特別顧問：江田五月会長、団長：片寄浩紀理事、副団長：吉田隆司理事、日中学院長、一行50名）が江蘇省と上海市を訪問した。本団は、日中友好会館関係者に日々変貌する中国の実情を見てほしいという駐日中国大使館の厚意で急遽実現したもので、日中学院教職員と学生を中心に会館役職員や日中友好後楽会会員が参加した。

以上